

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化を理解し、親しめるようにする。
- ・論理的に考える力や共感・想像する力を養い、社会生活の中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げ、深める。
- ・言葉がもつ価値を認識し、言語文化を大切にし、思いや考えを伝え合う態度を養う。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	単元名	内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	【漢字 (通年)】 【読む】	○漢字(通年) ○名づけられた葉(詩) ○セミロングホームルーム(小説)	・漢字の読み書き・熟語についての理解を深める。 ・リズムを感じ取りながら繰り返し音読して、詩に込められた思いをとらえる。 ・主人公を通して、自分のものの見方や考え方を広げる。 ・主人公の描かれ方を通して、自分のものの見方や考え方を 知る。
	5	【言語】 【読む】	○一年の文法の復習 ○類義語・対義語・多義語 ○短歌の世界 短歌十首	・言葉の特徴やきまりについての理解を深める。 ・類義語・対義語・多義語についての理解を深める。 ・短歌のリズムや表現方法などの特徴を理解して、作品の 内容をとらえる。
	6	【言語】 【書く】 【読む】	○じゃんけんは、なぜグー・チョキ・パーの三種類なのか ○人間は他の星に住むことができるのか ○敬語の意味と種類 ○手紙・メール ○壁に残された伝言	・主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・文章の構成や論理の展開とその効果について考える。 ・敬語の意味と種類についての理解を深める。 ・伝えたいことを明確にし、手紙の形式をふまえて書く。 ・発見された事実と、それを取材した筆者の思いがどのように 書かれているかを読み取る。
	7	【言語】 【読む】	○枕草子、徒然草(古文)	・古典に表れたものの見方や考え方にふれ、登場人物や 筆者の思いなどを想像する。
2 学 期	8	【漢字】	○漢詩の世界(漢文) ○熟語の構成	・漢詩の特徴を理解して読み、古典の世界を楽しむ。 ・熟語の構成・熟字訓についての理解を深める。
	9	【読む】 【話す】	○一〇〇年後の水を守る ○資料や機器を効果的に活用する プレゼンテーション	・文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ・話し手の意図や話の内容をわかりやすく伝えるために、 資料や機器を効果的に活用して話す。
	10	【漢字】 【言語】 【読む】	○熟語の読み ○用言の活用 ○平家物語	・熟語の読みについての理解を深める。 ・用言の活用についての理解を深める。 ・語句の意味に注意して音読し、古典のリズムを味わう。 ・登場人物の考え方について、自分の考えをもつ。
	11	【読む】	○複数の情報を関連づけて 考えをまとめる「共生社会 に関するデータ」「自立とは 「依存先を増やすこと」 ○小さな手袋	・意見と根拠の関係に注意して、互いの立場や考えを尊重 しながら話し合い、考えをまとめる。 ・文章を読み、理解したこと・考えたことを知識や経験と結び つけ、自分の考えを広げ深める。 ・登場人物の人物像と相互関係を捉え、その意図や心情を 読み深める。
3 学 期	12	【書く】 【書写】	○創作文 ○楷書と行書 ○書き初め	・作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開 などを工夫して書く。 ・硬筆毛筆を用いて、楷書体・行書体で漢字・仮名を書く。 ・楷書と行書の筆使いの違いに慣れる。
	1	【書写】 【読む】	○書き初めの振り返り ○動物園でできること(評論)	・級友の書き初め作品から学び、自己の作品を振り返る。 ・文章の全体と部分の関係や例示の効果などに注意して、 筆者の主張を読み取る。
	2	【書く】 【言語】	○論説文 ○助詞・助動詞 ○走れメロス(小説)	・異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら 話し合い、自分の考えを広げる。 ・助詞・助動詞について理解する。 ・登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え 方について読み深める。
	3	【読む】 【書く】 【読む】	○大阿蘇(詩) ○情報誌 ○ポテト・スープが大好きな猫 (小説)	・詩の表現技法とその効果を理解し、詩に描かれた情景を 読み取る。 ・集めた情報を整理し、伝える内容を検討する。 ・場面の展開や登場人物の描写などに注意して、関係や 心情を読み取る。

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活において必要な言葉の働きを客観的に捉え、理解できる。 ・漢字・語彙・古典・文法・語句・書写についての理解を深め、知識を身に付け、活用できる。 	定期考査・朝学習漢字テスト・書写作品・暗唱テスト等
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における人との関わりの中で、話すこと ・聞くこと・話し合うこと・書くことができる。 ・文章の要旨を論理的に把握することができる。 ・場面展開や登場人物の心情の変化を捉えることができる。 	定期考査・ワークシート 作成した文章・レポート 発言・スピーチ・聞き取りテスト等
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつ価値を認識し、目的意識をもって言語活動に積極的に参加できる。 ・自己の学びを客観的に捉え、更に成長させていこうと工夫し、努めることができる。 	授業態度・自己評価・宿題・提出物・ワーク・発言等

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・忘れものをしないようにし、授業前の休み時間に教材準備をする習慣をつけよう。
- ・自分の言葉で考えをまとめ、積極的に表現し、他者へ伝えよう。
- ・友達をはじめ、身の回りの人の言葉や価値観から学び、伝え合う姿勢を大切にしよう。
- ・自分の心情や価値観の変化に気付き、言語化できるようにしよう。
- ・書き言葉と話し言葉をしっかりと区別し、丁寧かつ正確に文字や文章を書くことを心がけよう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・授業で学んだことやポイントを自分の言葉で説明できるようにしよう。
- ・言葉に興味をもち、わからない言葉があったら、辞書を引く習慣を身に付けよう。
- ・わからないことはそのままにせず、遠慮せず先生に質問、相談して解決しよう。
- ・漢字練習を計画的に行い、習慣づけよう。
- ・単元が終了したら、必ずワークで復習しよう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・学習計画をしっかりと立てよう。
- ・前回までのテスト問題を見直して自分なりに対策を立てよう。
- ・漢字は何回も書いて、正確に覚えよう（漢字ノートを利用する）。
- ・教科書を何度も読もう。
- ・ワークシートやノートを見直し、授業内容を理解しよう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・友達や周りの人の意見や言葉をよく聞き、キーワードはメモをとるなどして自分の語彙を増やそう。
- ・毎日の時間の使い方、学習計画の立て方、効果的な学習方法を模索し、自分なりのやり方を身につけていこう。友達とも、学習の工夫ややり方について情報交換して参考にするとよい。
- ・読書に取り組もう。他にも映画やアニメ鑑賞、歌詞のある音楽を聞く、観劇など、多種多様な豊かな言葉にたくさん触れ、心を豊かにしながら言葉の力を磨こう。
- ・漢字練習を習慣づけよう（都立高校入試の国語において、漢字は100点中20点と、配点が高い）。